

## 平成 20 年度当初予算 施策別概要

### 4 4 2 水資源の確保と効率的な 総合利用

44201 水資源の確保と有効利用 (政策部)  
44202 水の安全・安定供給 (企業庁)

( 主担当部：政策部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 県民が

( 意図 ) いつでも安心して水を安定的に使用することができる

#### < 施策の数値目標 >

施策目標項目 ( 主指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
飲料水の供給に対する満足度	目標値	-	57.8%	58.5%	60.0%
	実績値	57.1%			

日常生活に欠かせない飲料水が安心して飲め、安定的に供給されることに対して、「満足」あるいは「どちらかといえば満足」と回答した県民の割合 ( 政策部企画室「一万人アンケート」)

施策目標項目 ( 副指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
水道普及率	目標値	-	99.2% (H18)	99.2% (H19)	99.2% (H21)
	実績値	99.1% (H17)			

#### < 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・ 近年の水資源の状況は、少雨化に加えて雨の降り方が大きく変化してきていることから、水源の供給能力が低下してきており、渇水が頻発するようになってきています。また、水質面では、改善されつつあるものの、生活排水等による河川・湖沼の汚濁、富栄養化等の問題が依然として課題となっています。
- ・ 一方、県民からは、飲料水について、安全性、快適性、安定供給が求められています。このため、水源の汚濁対策に万全を期し、より安全な水の確保に向けた取組や、渇水時や地震等の非常時においても、可能な限りその影響を最小に抑え安定して水を供給するための取組が必要となっています。県内人口が減少に転じることが推測され、水需要の伸びは見込めない状況の中で、水道事業については施設の更新時期を迎えるなどその経営環境は厳しさを増してきており、今後需要者の要求に的確に応えていくためには、より一層の経営の効率化と基盤の強化に取り組む必要があります。

#### < 平成 20 年度の取組方向 >

川上ダムについては、関係機関と連携をはかりながらダム本体工事の早期着手やコスト縮減に取り組めます。

木曾川水系連絡導水路については、関係機関と連携をはかりながら本体工事の早期着手や

コスト縮減に向けて取り組みます。

未利用水の利用方策については、庁内の水資源関係部局と検討するとともに、水資源機構の建設割賦負担金の軽減策等について取り組みます。

水道の広域的整備を推進し、水道未普及地域を解消するとともに、安定供給の確保に向けて取り組みます。

水道用水及び工業用水の安定供給を維持しながらコスト縮減や効率的な事業運営をはかるとともに、危機管理体制の強化に向けて取り組みます。

1市への供給となっている水道用水供給事業の市水道事業への一元化について、関係市と協議を行います。

#### <主な事業>

工業用水道事業会計出資金【基本事業名：44201 水資源の確保と有効利用】

予算額： 1,455,462千円 1,364,035千円

事業概要： 県勢振興のため水源を先行的に確保し、工業用水道事業の経営健全化をはかるため、一般会計から工業用水道事業会計に出資を行います。

北勢広域水道拡張費【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】(企業庁)

予算額： 2,376,087千円 1,443,141千円

事業概要： 三重県北部広域圏広域的水道整備計画に基づき、北勢地域の水需要に対応するための広域水道を拡張整備します。

伊賀広域水道建設費【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】(企業庁)

予算額： 3,797,831千円 2,928,582千円

事業概要： 三重県西部広域圏広域的水道整備計画に基づき、伊賀地域の水需要に対応するための広域水道を整備します。

北伊勢工業用水道改良費【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】(企業庁)

予算額： 1,630,983千円 1,786,840千円

事業概要： 工業用水を安定的に供給できる施設機能を維持するため、施設の更新や改良を行います。

多度工業用水道改良費【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】(企業庁)

予算額： 151,531千円 96,904千円

事業概要： 工業用水を安定的に供給できる施設機能を維持するため、施設の更新や改良を行います。